



高原の自然館ニュースレター

苅尾電波塔

第 132 号

2015.1.15

高原の自然館

苅尾（かりお）とは、広島県北広島町芸北にある山の名前です。

一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめて「かりお」の名前をつかっています。

も く じ

お知らせ

- ー新年のご挨拶
- ー住所の表記変更について

活動報告

- ーかんじき作り

観察会案内

- ー雪原のトレッキング
- ー早春のトレッキング

お し ら せ

●新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。昨年も多くの方よりご支援、ご協力をいただき、ありがとうございました。本年も、様々な観察会やイベントを通じて、西中国山地の魅力をお伝えします。どうぞよろしくお願いいたします。

●住所の表記変更について

高原の自然館と北広島町役場芸北支所の住所の表記が下記の通りに変更となりました。施設の移転等はなく、番地のみの変更となります。

高原の自然館：
〒731-2551
広島県山県郡北広島町東八幡原 10119 番地 1

北広島町役場芸北支所：
〒731-2323
広島県山県郡北広島町川小田 10075 番地 5

観 察 会 報 告

●かんじき作り

開催日時：2014年12月6日（土）10:00

講師：坂井健作

70センチメートルの積雪が観測され、開催場所である八幡高原センター前の雪かきから始まったかんじき作りに、5名が参加しました。講師は坂井健作先生です。坂井先生は、かんじき作りの技術を評価され、2010年に「北広島町の達人」に認定されています。

かんじきは、先生が事前に用意したかんじきの枠に、ロープを巻き付けて作ります。枠には、ヒノキ、ヤマボウシ、ミヤマガマズミが用いられ、しなやかで曲げて折れにくく、その中でもミヤマガマズミは「軽くて歩きやすい」、ヤマボウシは「少し重い分頑丈」等、それぞれ特徴があるそうです。参加者は手に取って重さを比べながら、自分の体格に合う物を選びました。

まずは、右足用のかんじきから作ります。手順を説明いただきながら、坂井先生と一緒に、つま先からかかとに向かってロープを巻き付けていきます。難しい部分は、繰り返して教えていただき、少しずつ完成に近づけていきました。

制作の合間に、当時の生活の様子をお話していただきました。除雪車が使われる以前は、冬の間、仕事や作業をするためのかんじきは必需品であり、各家庭毎に色々な作り方があったそうです。当時はロープに代わり、わらを編んだ縄を巻き付けており、かんじきを使用する時は、補修用のわらを用意していた事を聞きました。

先生のお話に耳を傾けながら、かんじき制作を進めていきます。最後に「おとこ結び」と呼ばれる方法で結びます。茅葺き屋根や、生け垣等を作る際に使われる、頑丈で解けにくい結び方だそうです。慣れていないと難しい結び方でしたが、手順を色々な角度から見せていただき、自分達の手で結べるようになりました。

続いて、左足を作ります。右足のものを参考にしたり、隣の人と手順を確かめ合いながら、巻き付けていきました。

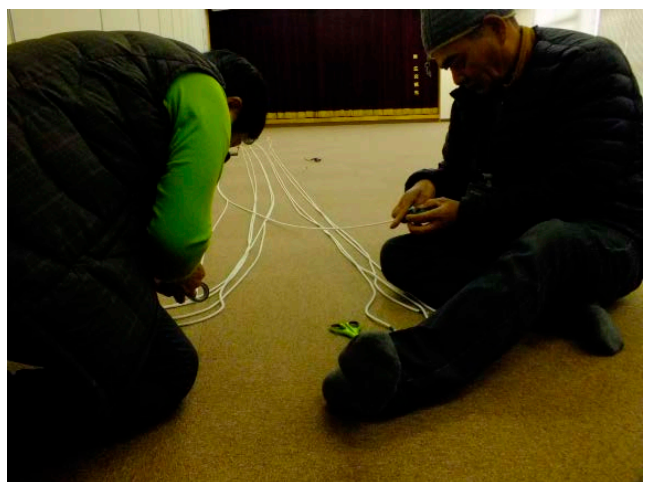
完成したかんじきを、手に取って出来映えを確認したり、履き方を教わって、その場で足踏みしながら、どこを歩いてみるか、終始和やかな雰囲気、話に花を咲かせながらのかんじき作りとなりました。（ありみつますかず）



かんじき作りの講師でおなじみの坂井先生。



用意していただいたかんじきの枠の中から、体格に合ったものを選ぶ。



巻き付けるロープの準備から始めた。8メートルのものを1人に2本用意し、端がほつれないよう、テープで留める。



右足の枠に、つま先からロープを巻き付けていく。



かんじきの履き心地を確認。歩行中に脱げないように、しっかりと固定する方法を教わった。



先生のお手本を見たり、参加者同士で教えあいながら、少しずつ完成に近づける。



かんじきと一緒に記念撮影。お疲れ様でした！



右足を作り終え、続いて左足を制作。

【みなさんの印象に残った物】

「既製品にはない、自分サイズのかんじきを作ることができ、とても嬉しいです」「何回も聞きながら作ったが、坂井先生には丁寧に教えてもらい、うれしかったです」「雪がありましたが、無事に会場に到着し安心しました。雪の多さにびっくりです」

【参加したみなさんの感想（抜粋）】

「坂井先生には丁寧にご指導いただきありがとうございます」「人数が少なかった分、十分聞くことができました」「坂井名人の丁寧な説明で無事にかんじきが完成し、自然観察会等で活かそうです。」

観 察 会 案 内

観察会に参加される時には、次のようなものを持参してください。カメラ、双眼鏡、ルーペ、図鑑などもあれば、楽しいと思います。

基本セット：山を歩ける服装、雨具、飲み物、おやつ、筆記用具、メモ帳

作業セット：作業ができる服装、長靴、軍手、雨合羽、飲み物、おやつ

.....

● 雪原のトレッキング

開催日時：2015年2月8日（日）10:00

集合場所：高原の自然館

講師：上野吉雄

準備：基本セット、双眼鏡、スノーシュー・かんじき

定員数：30名

参加費：一般300円、賛助会員100円

正会員・中学生以下は無料

レンタル：かんじき400円、スノーシュー1,000円

※ 数に限りがありますので、事前にご予約下さい。

真冬の八幡高原はどんな姿を見せてくれるのか、スノーシューやかんじきを履いて歩いてみましょう。動物達の足跡や食痕等のフィールドサインの他、ユキグロカワゲラやトビムシ等の雪上で生活するユキムシも探してみましょう。



● 早春のトレッキング

開催日時：2015年3月7日（土）10:00

集合場所：高原の自然館

講師：上野吉雄

準備：基本セット、双眼鏡（スノーシュー・かんじき）

定員数：30名

参加費：一般300円、賛助会員100円

正会員・中学生以下は無料

（レンタル：かんじき400円、スノーシュー1,000円）

※ 数に限りがありますので、事前にご予約下さい。

厳しかった冬が過ぎ、八幡にも春の兆しが見られる時期です。春を待つ植物や動物達の姿を観察しましょう。冬と春の両方を感じられる、この時期ならではのトレッキングです。雪が残っている場合は、スノーシューやかんじきをご用意ください。



※ 冬期の観察会は、大雪等の悪天候により、中止になる場合があります。連絡が取れるよう、必ず事前の申し込みをお願いします。

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。「今年の冬は、今のところ雪が少ないね」という話を度々耳にします。それを聞いて、除雪されて自分の身長よりもずっと高く積み上げられた雪を、まだ見ていないことに気がつきました。とはいえ、路面の積雪や凍結等は例年と変わらないので、芸北にお越しの際は、お気をつけて運転してくださいね。（ありみつ）

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先（ご意見・ご感想もお待ちしております）

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡北広島町東八幡原 119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

staff@shizenkan.info